

2012年1月1日～2021年1月31日の間に 当科において好酸球性食道炎が疑われ内視鏡検査を受けられた方 およびご家族の方へ

- 「好酸球性食道炎(Eosinophilic esophagitis; EoE)に関する臨床病理学的研究」へのご協力のお願い-

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者	川崎医科大学検査診断学(内視鏡・超音波)	教授	眞部紀明
研究分担者	川崎医科大学検査診断学(内視鏡・超音波)	准教授	藤田 穰
	川崎医科大学検査診断学(内視鏡・超音波)	講師	綾木麻紀
研究分担者	川崎医科大学検査診断学(内視鏡・超音波)	大学院生	中村 純
	川崎医科大学総合内科学2	特任教授	春間 賢
研究分担者	川崎医科大学健康管理学	教授	鎌田智有
	川崎医科大学総合内科学2	教授	河本博文
研究分担者	川崎医科大学消化管内科学	講師	村尾高久
	川崎医科大学消化管内科学	准教授	松本啓志
研究分担者	川崎医科大学消化管内科学	教授	塩谷昭子

1. 研究の概要

好酸球性食道炎の臨床病理学的特徴を明らかにすることを目的に、川崎医科大学附属病院・総合医療センター及び分担研究者が勤務する施設において好酸球性食道炎が疑われ上部消化管内視鏡検査を受けた患者を対象にその臨床所見と組織所見、内視鏡所見の特徴を明らかにするため、この研究を計画しました。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2012年1月1日～2021年1月31日の間に好酸球性食道炎が疑われ上部消化管内視鏡検査を受けられた方270名(川崎医科大学附属病院においては120名、川崎医科大学総合医療センターにおいては50名、その他の共同研究機関においては100名)を研究対象とします。

2) 研究期間

西暦2020年9月3日～2025年6月30日

3) 研究方法

2012年1月1日～2021年1月31日の間に当院および共同研究機関で好酸球性食道炎が疑われ上部消化管内視鏡検査を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに好酸球性食道炎のデータを選び、臨床所見、内視鏡所見、組織所見に関する分析を行い、その特徴所見について調べます。

4) 使用する試料・情報の種類

情報：年齢、性別、家族歴、病歴、治療歴、症状 等

試料：内視鏡検査時に得られた組織所見

5) 外部への試料・情報の提供

この研究では、以下の共同研究機関から提供された情報と試料がデータセンターに集積され、研究責任者が解析いたします。提供の際、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除いたします。また、解析された結果は共同研究機関でも共有します。

6) 試料・情報の保存

この研究に使用した情報と試料は、研究の中止または論文等の発表から5年間、総合医療センター検査診断学医局内のパスワードのかかるPCで保管、また紙媒体のデータは同医局内鍵付きキャビネットに保管いたします。

7) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの試料・情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2025年3月31日までの間に下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

< 問い合わせ・連絡先 >

川崎医科大学総合医療センター 中央検査科

氏名：眞部紀明

電話：086-225-2111（平日：8時30分～17時00分）

ファックス：086-232-8343

E-mail：n_manabe@med.kawasaki-m.ac.jp

< 研究組織（共同研究機関） >

公立みつぎ総合病院	内科医長	今村かずみ
白十字会白十字病院	院長	大谷 博
淳風会ロングライフホスピタル	院長	久本信實
淳風会健康管理センター	センター長	井上和彦
はしもと内科	院長	橋本義政
ちえ内科クリニック	院長	埜 千衣
藤枝市立総合病院 消化器内科	部長	丸山 保彦
田崎胃腸科内科	院長	田崎 修平

3. 資金と利益相反

この研究は、学内研究費を用いて行われる予定です。

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。